

PCB廃棄物収集運搬業務

# 安全管理体制

株式会社エコ・ポリス



教育

- 講義形式

効果  
測定

- 確認テスト

共有

- ミーティング

## 教育

☆講義方式で従事者全員に実施(年1回、新人)

- ・PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン
- ・日本環境安全事業(株) 豊田事業所の受入基準
- ・日本環境安全事業(株) 豊田事業所からの通知等
- ・ヒヤリ・ハット事例
- ・ルーテレビ取扱説明書

## 効果測定

☆教育効果を測定するための確認テストを実施

- ・全20問〇×式のペーパーテスト(5点×20問)
- ・設問は毎年変更

☆確認テストの結果を基に力量判定

- ・80点以上合格
- ・80点未満は再教育

## 共有

### ☆事前ミーティング

- ・運搬計画（運搬経路、役割分担）の確認
- ・事前調査内容（現地状況）の確認

### ☆現地での危険予知ミーティング（KYM）

- ・現地にて作業従事者全員で実施

## 安全対策(改善事例)

☆平成22年11月9日の漏洩事故

- ・AM8:14~PM4:12まで7件の顧客より18台のコンデンサを回収(オーバーナイト)
- ・翌日、弊社から出発前の漏洩確認時には問題が  
無かったが、日本環境安全事業(株) 豊田事業所へ搬入した際に碍子根元より漏洩発見
- ・4件目に回収した顧客のコンデンサが漏洩
- ・弊社~搬入までの間に漏洩(運搬中)

## 修正処置(応急処置)

☆転倒防止と碍子保護を主体にした固縛方法を見直し、形に関係なく筐体同士の接触を避けるための緩衝材使用を徹底

☆平成23年の効果測定の確認テスト

- ・「PCB廃棄物をインナートレイへ積み込む際、運搬中の振動により機器同士が衝突し漏洩する危険性を防ぐために各機器の間には緩衝材か吸収材を入れる」

## 是正処置

### ☆根本原因の除去

- ・過密スケジュールでの『積み合わせ回収』を避ける
- ・顧客単価の適正化を図る

## 今後の課題

### ☆水平展開の限界

- ・ヒヤリ・ハット事例集の活用は事故の予防処置として  
大変参考になる
- ・更なる安全管理の向上には、運搬業者が集まり疑問  
や悩みを議論できる場の開催が望まれるが、各社の  
ノウハウに係わるため現実的に情報の共有は難しい

### ☆安全運行のための適正な収集運搬費

- ・『積み合わせ回収』と適正な収集運搬費の両立